

## USB-プリンタケーブルによる転送方法

取扱説明書に掲載されていない、後から追加されたものについての説明です。

DENCOM 80ZMk A / Mk A では、パソコンで作成したプログラムの転送にプリンタポートを使用することになっています。

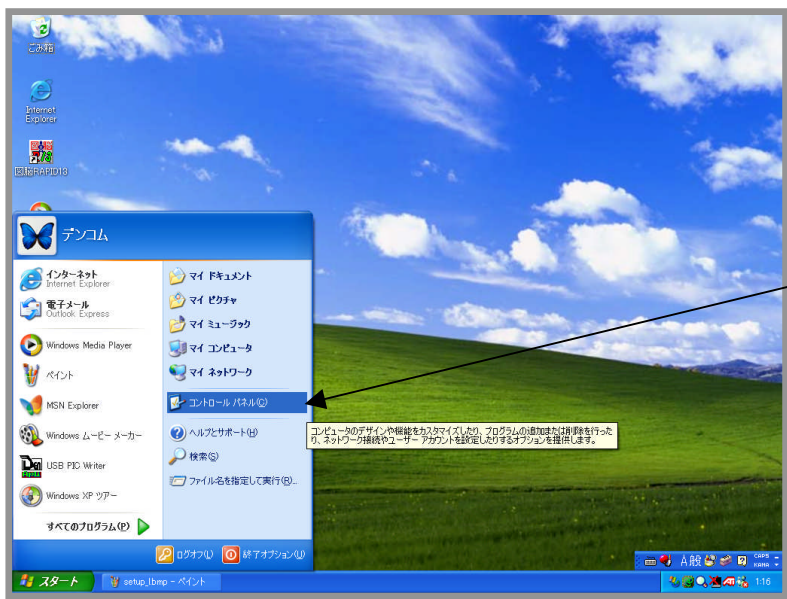
しかし、近年のパソコンにはプリンタ用のパラレルポートがついていない機種もあるため、USB - プリンタケーブルを使用することになります。

このケーブルによる転送は、あらかじめ設定しておくことがあるため、その手順を示します。

### (1) ネットワークのループバックドライバの登録

コマンドプロンプトからは、USB プリンタのポートが見えないため、ネットワークの共有プリンタとして登録し、ネットワーク上のプリンタとして扱うようにします。

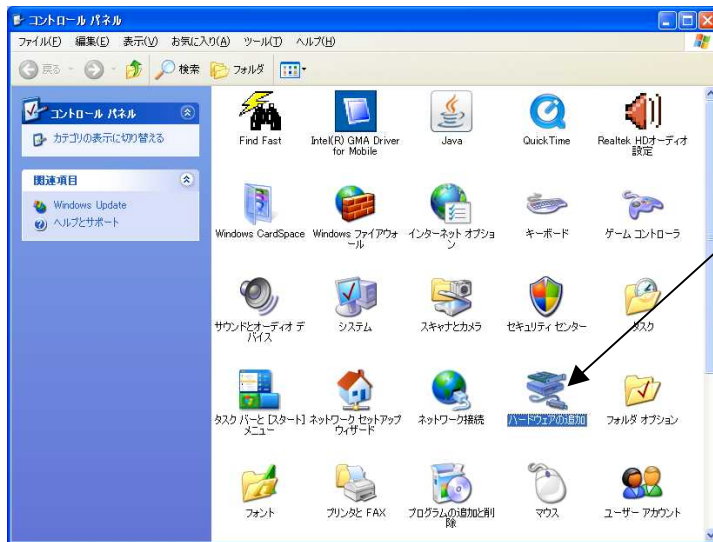
まず、ネットワークの接続の有無に関係なく、ネットワーク上の PC として見られるようにするため、「ループバックドライバ」の登録を行ないます。



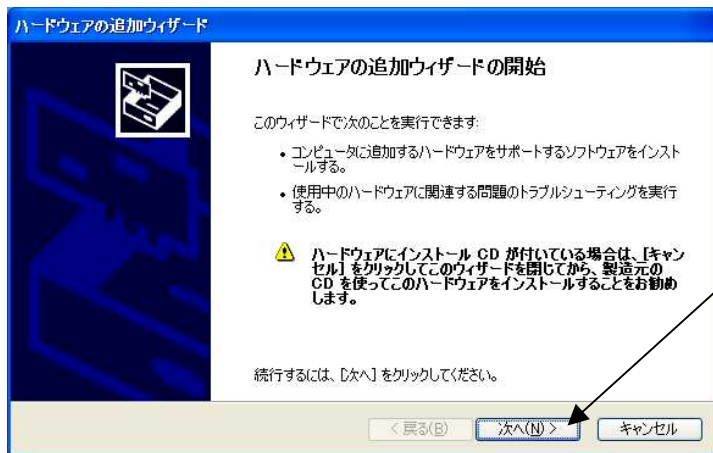
「スタート」  
「コントロールパネル」を選択



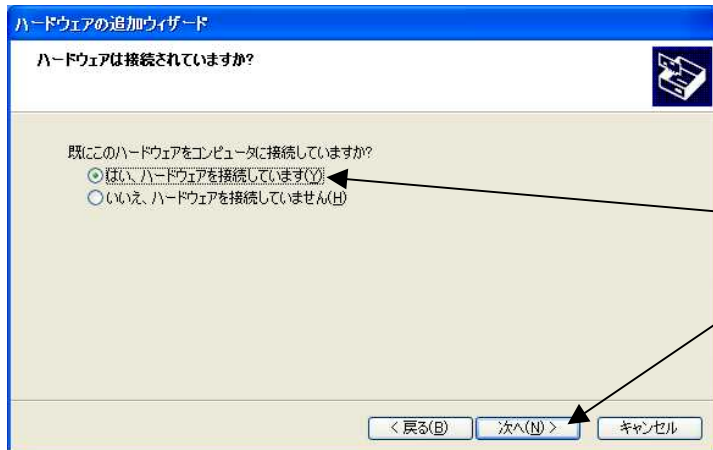
この画面になったら、  
クラシック表示に切り替えて  
ください。



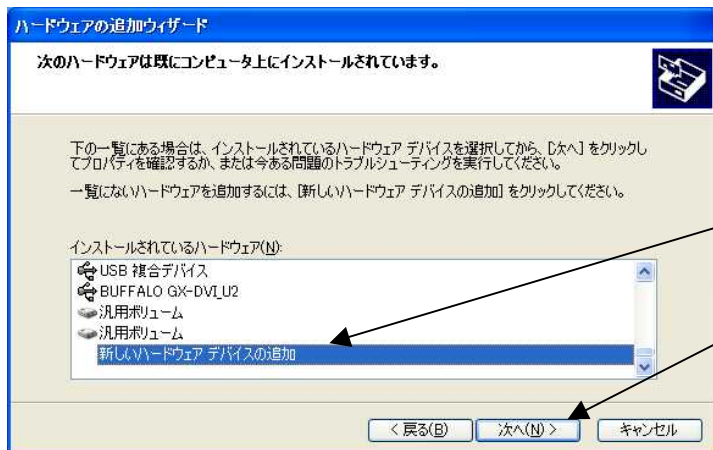
「ハードウェアの追加」を選択します。



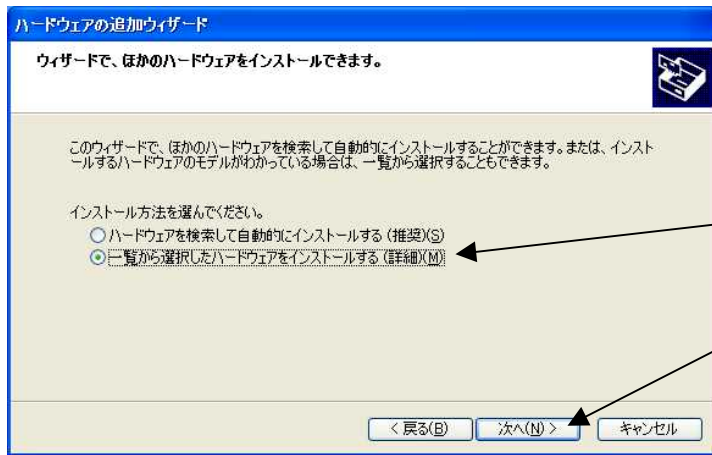
「次へ(N)>」をクリック。



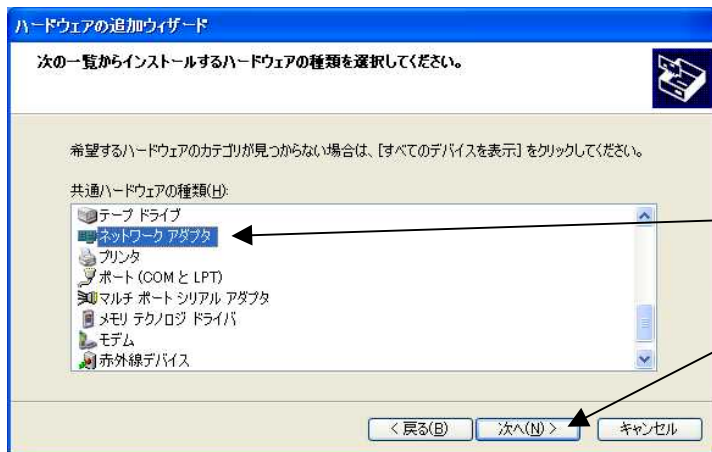
「はい」にチェックを入れ、「次へ(N)>」をクリック。



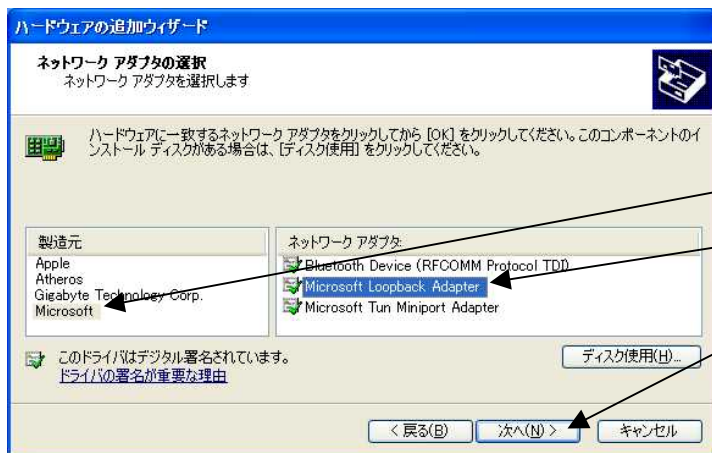
「新しいハードウェア ~」を選択してから、「次へ(N)>」をクリック。



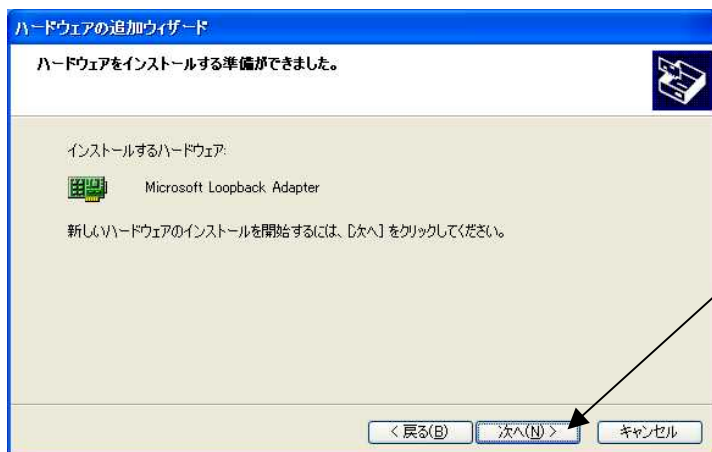
「一覧から選択した ~」を選択してから、「次へ(N)>」をクリック。



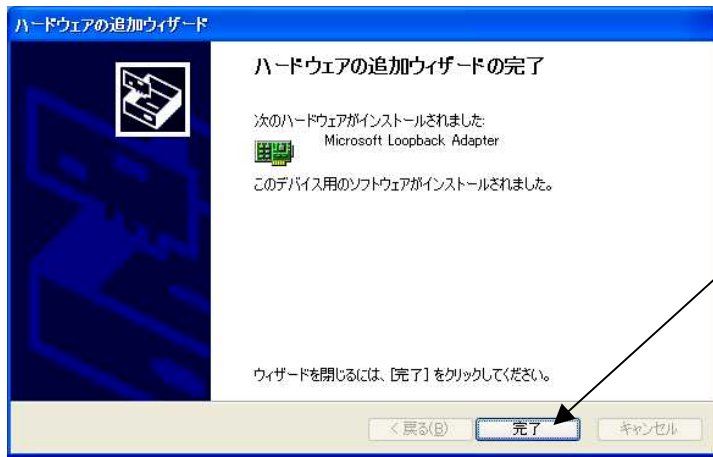
「ネットワークアダプタ」を選択してから、「次へ(N)>」をクリック。



「Microsoft」の「Microsoft Loopback Adapter」を選択してから、「次へ(N)>」をクリック。



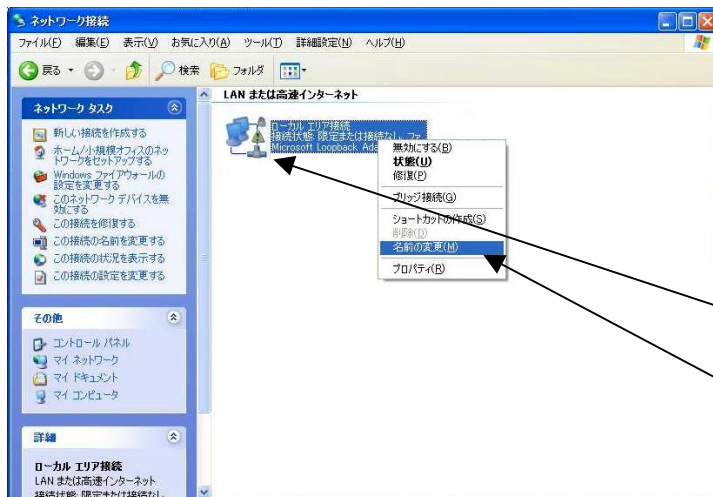
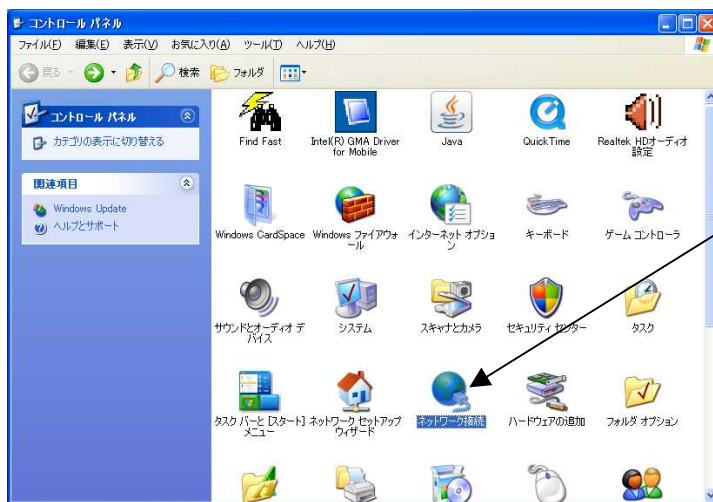
「次へ(N)>」をクリック。



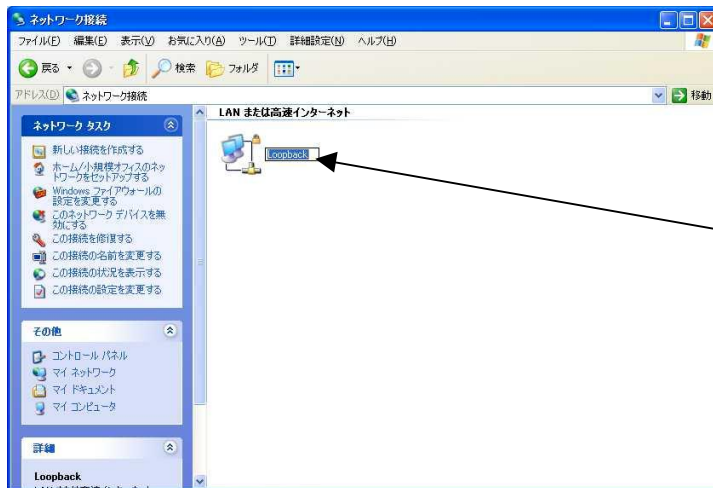
これで、ループバックドライバの登録ができました。

## (2) ネットワークのループバックドライバの設定

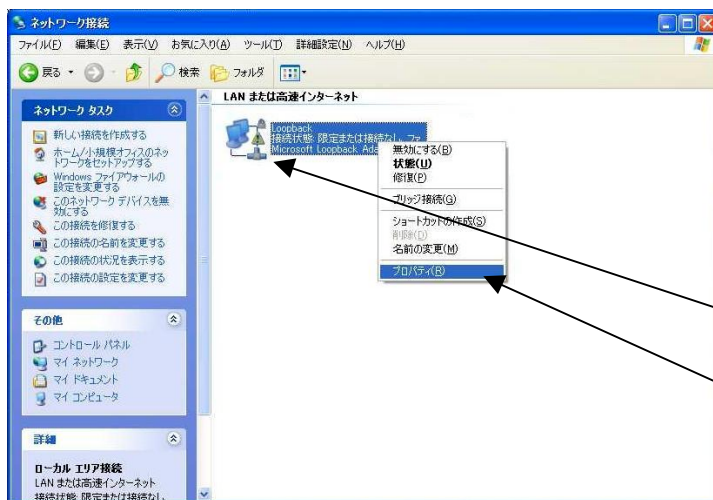
次に、登録したループバックドライバの設定をします。



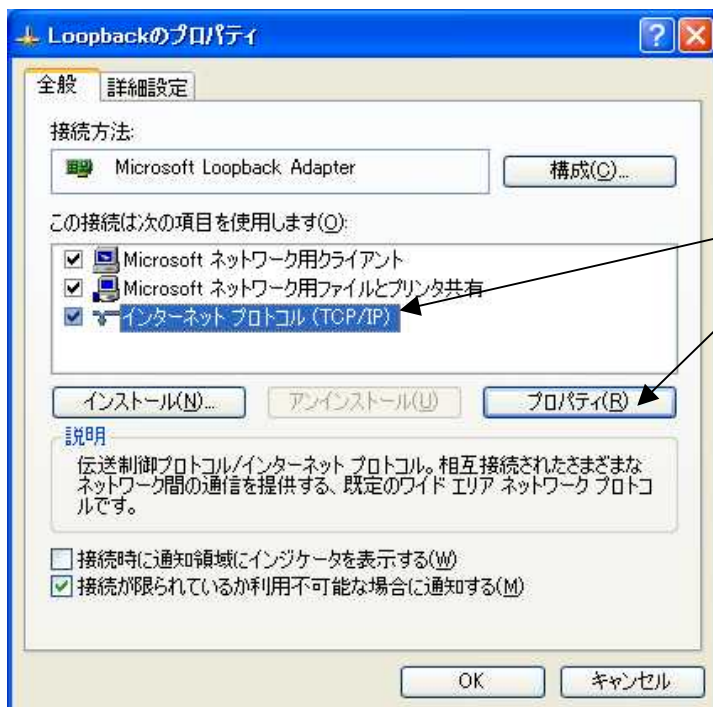




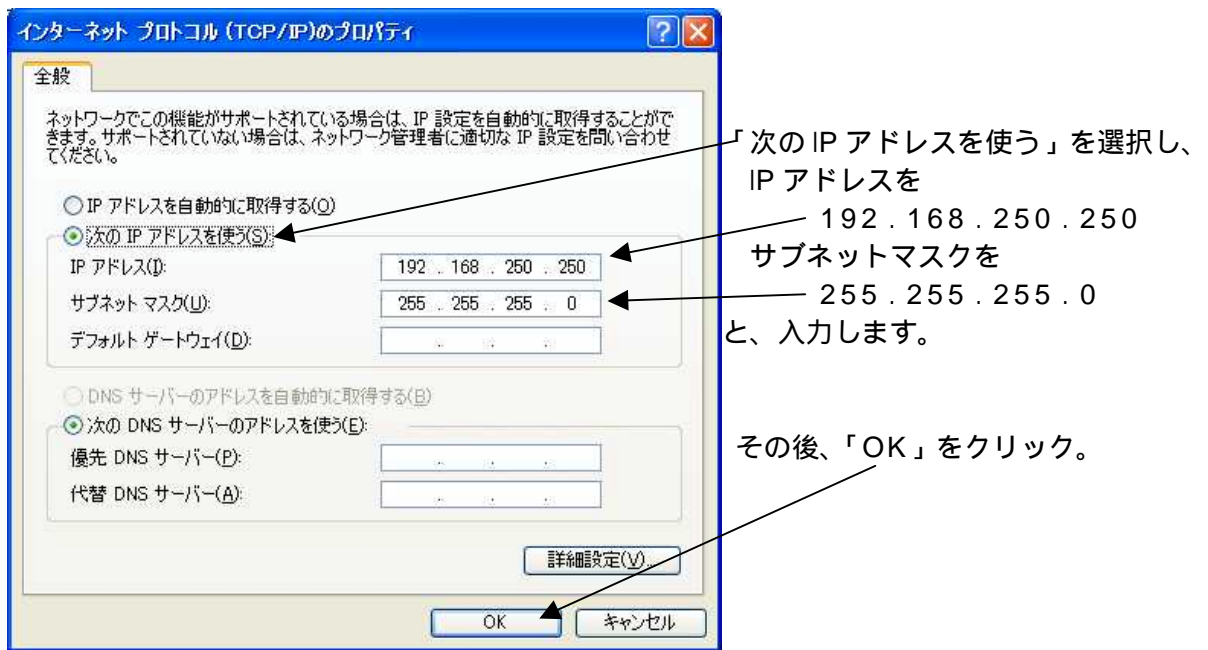
名前を「Loopback」に変更し、[enter]を押します。



再度、そのアイコンを右クリックしてメニューを出し、「プロパティ」を選択します。



「インターネット プロトコル」を選択し、「プロパティ」を選択します。



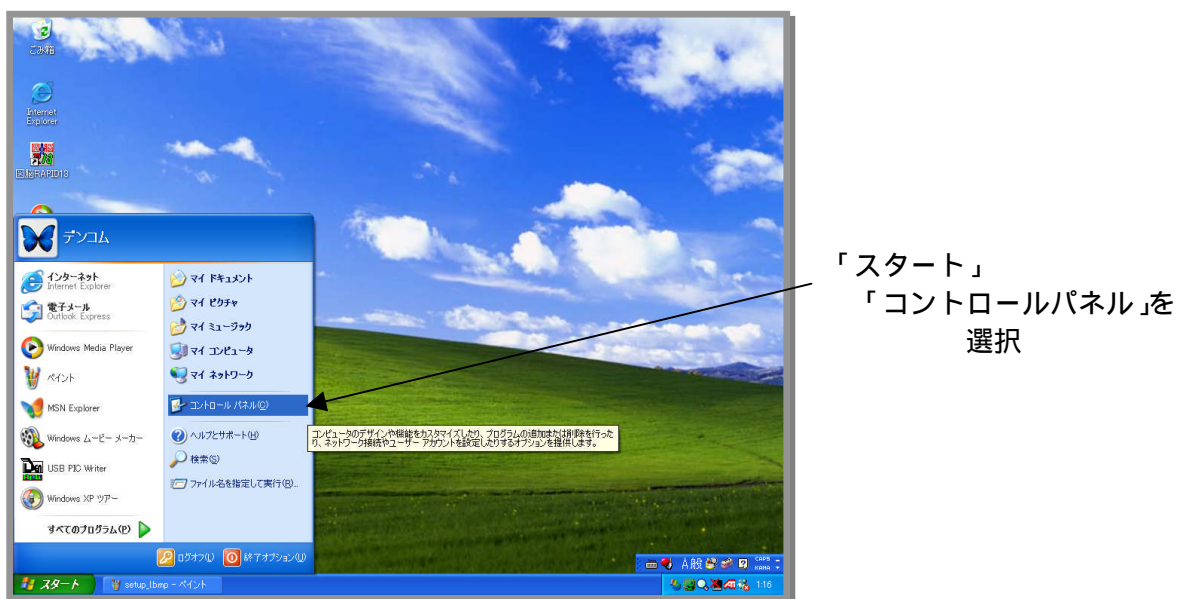
これで、ループバックドライバの設定ができました。

### (3) 仮想プリンタの登録

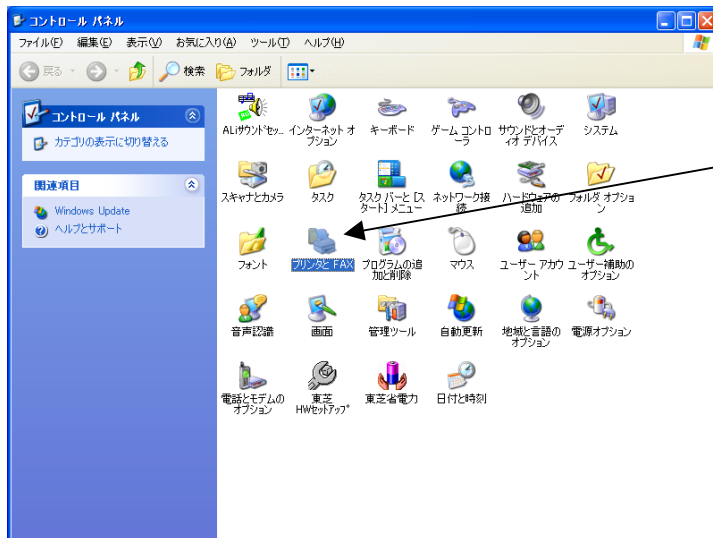
次に、仮想プリンタの登録をします。

まず、USB - プリンタケーブルをパソコンの USB ポート接続します。

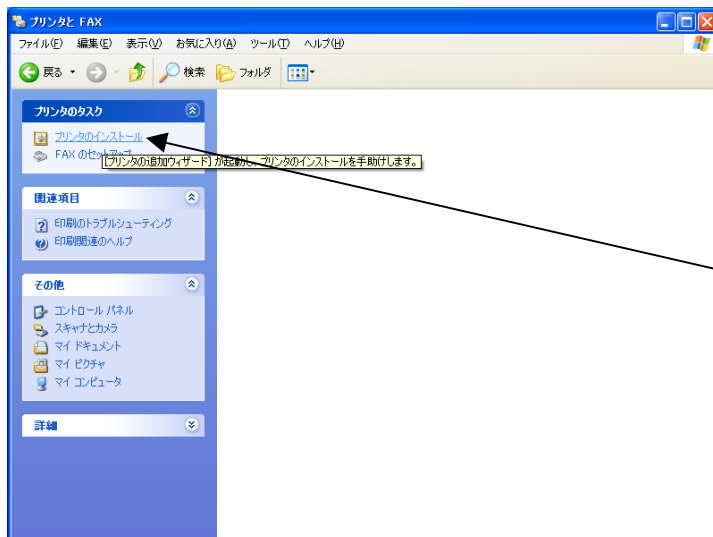
次に「コントロールパネル」の「プリンタとFAX」を開きます。



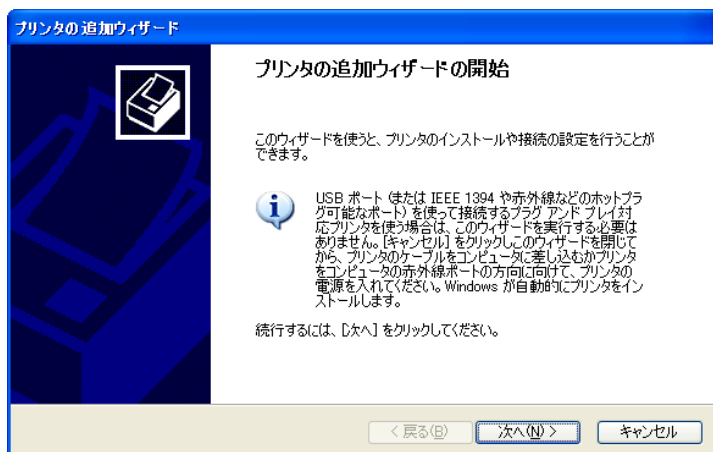
Windows2000 の場合は「スタート」「設定」「コントロールパネル」です。



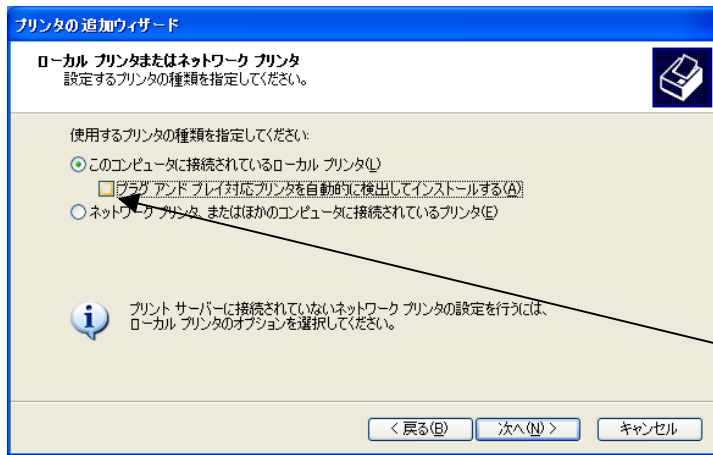
「プリンタと FAX」を  
選択



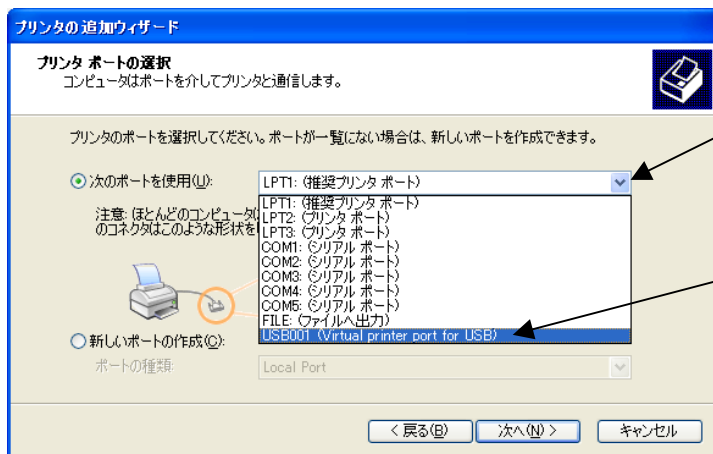
「プリンタのインストール」  
をクリックします。



「次へ」をクリック



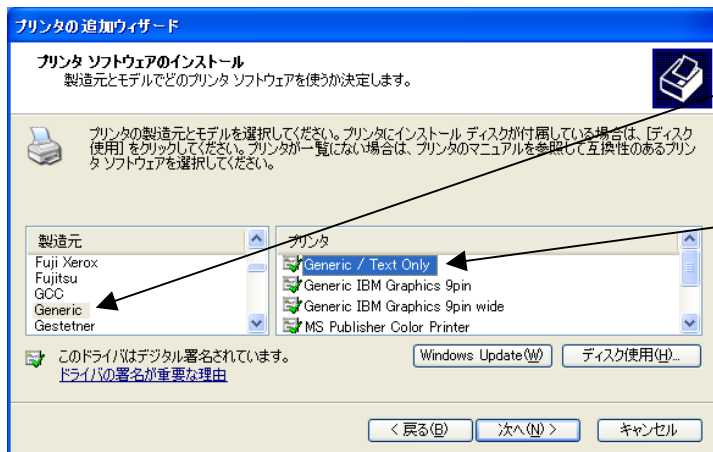
このチェックを外してから「次へ」をクリックします。



ここをクリックしてプルダウンメニューを表示させ...

「Virtual printer port for USB」を選択します。複数ある場合は、下のほうを選択してください。

「次へ」をクリック

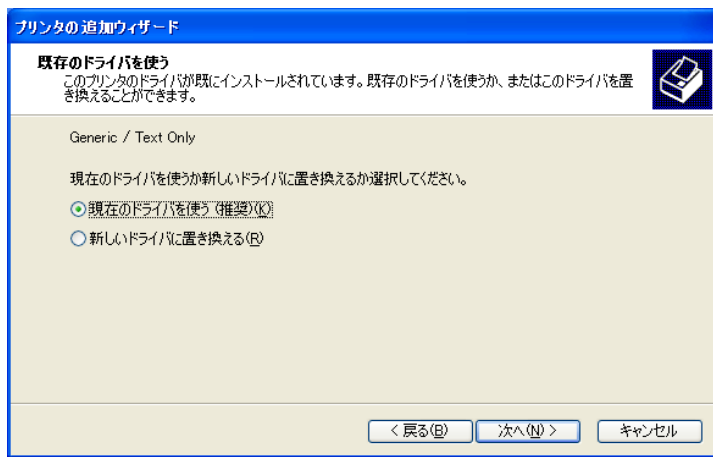


製造元は「Generic」を選択し...

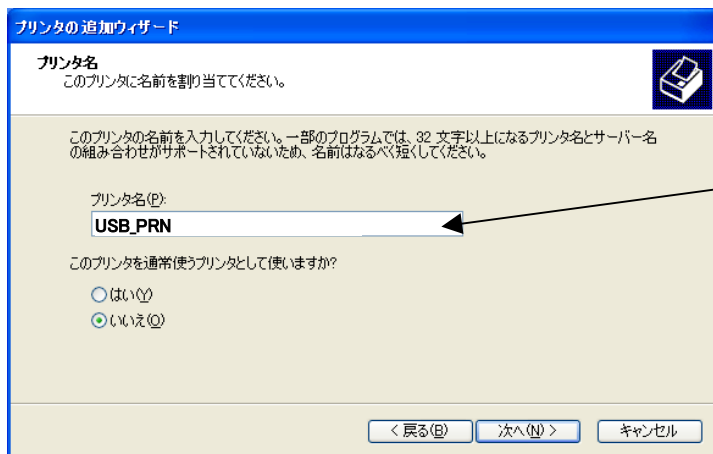
プリンタは「Generic / Text Only」を選択します。

「次へ」をクリック



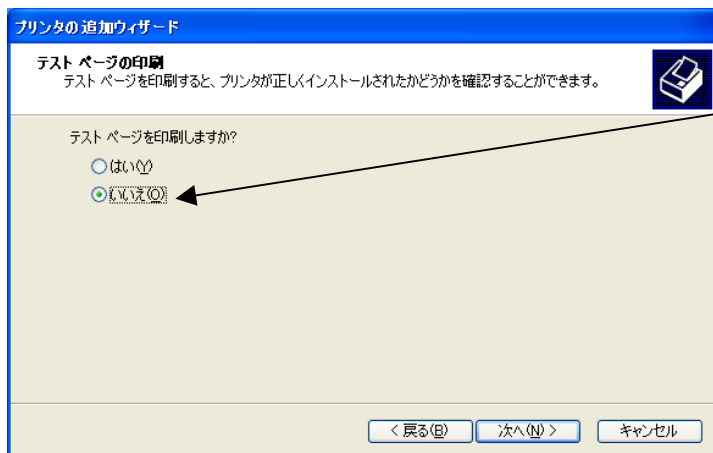


「次へ」をクリック



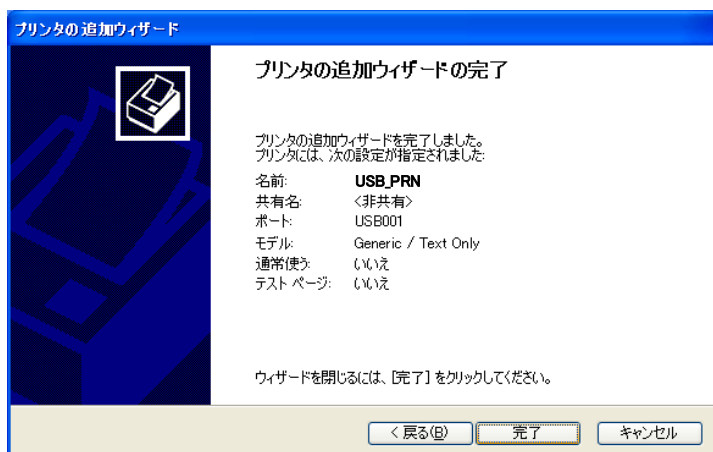
プリンタ名は、判別しやすいように「USB\_PRN」とします。

「次へ」をクリック



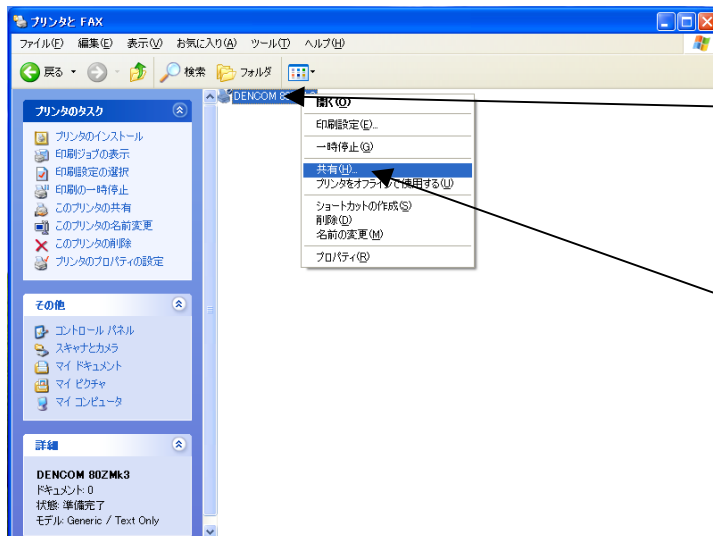
テストプリントはできないので、「いいえ」を選択します。

「次へ」をクリック



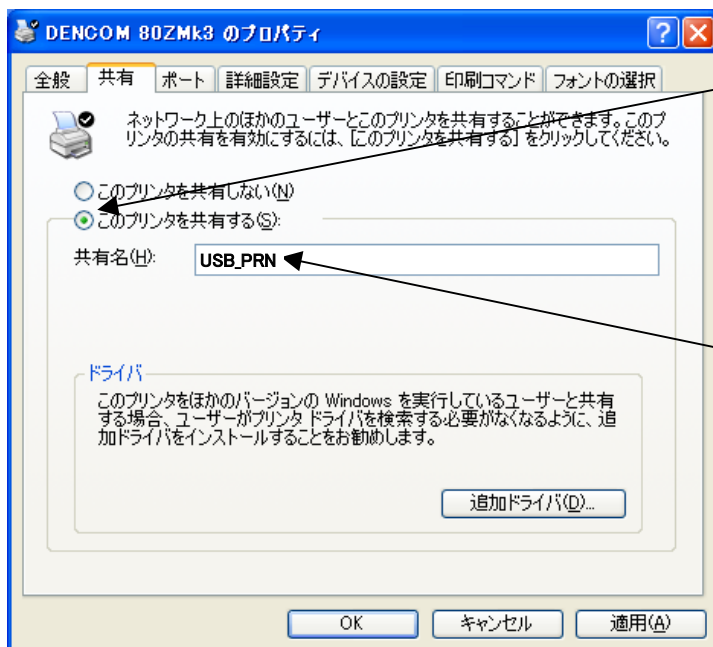
「完了」をクリックします。

次に「共有設定」をします。コマンドプロンプトから使用するための必須事項です。



先ほど設定した  
「USB\_PRN」を  
右クリックして  
メニューを出し...

「共有」を選択します。



「このプリンタを共有する」  
を選択し...

共有名を  
「USB\_PRN」とします。

「OK」をクリックします。

以上で仮想プリンタの登録は完了です。

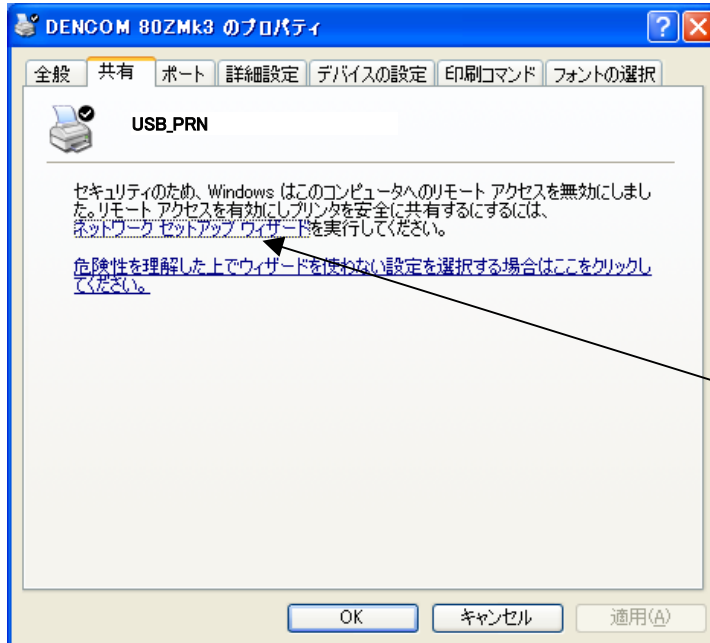
「共有」を選択した時、上記の画面にならなかった場合は、共有設定が有効になっていない場合があります。

次ページから説明を参考に、リモートアクセス設定をしてから、再度、「共有設定」を行なってください。

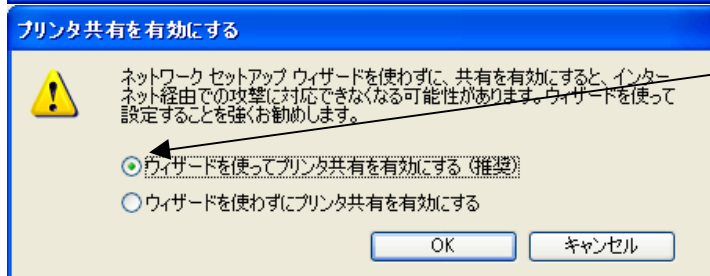
この時、途中で再起動することになる場合があります。

**共有の設定ができた場合は、14 ページへ進んでください。**

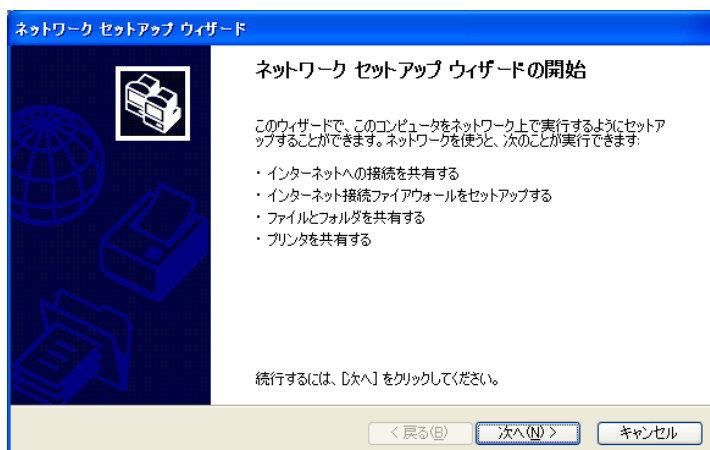
## リモートアクセス設定の要求が出てきた場合 ...



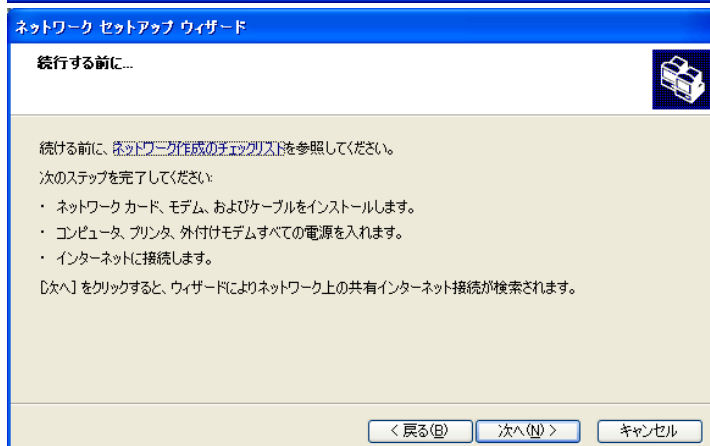
ここをクリックして  
ウィザードを起動します。



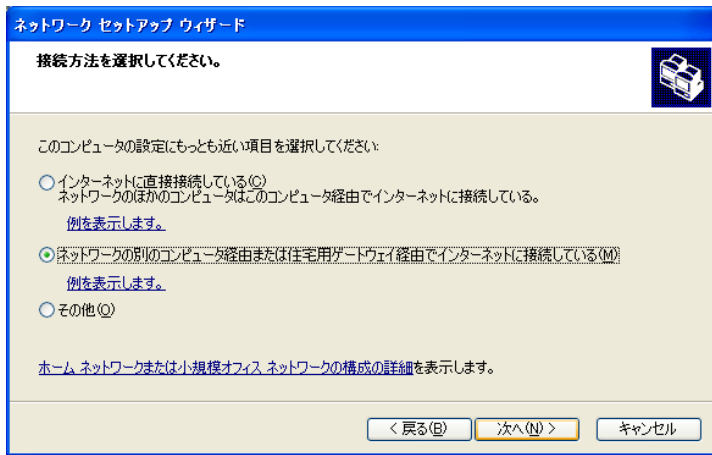
「ウィザードを使って ...」を  
選択し、  
「OK」をクリックします。



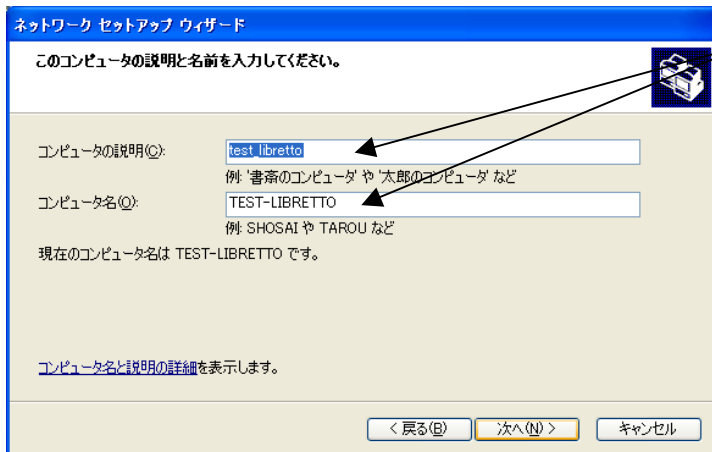
「次へ」をクリック



「次へ」をクリック

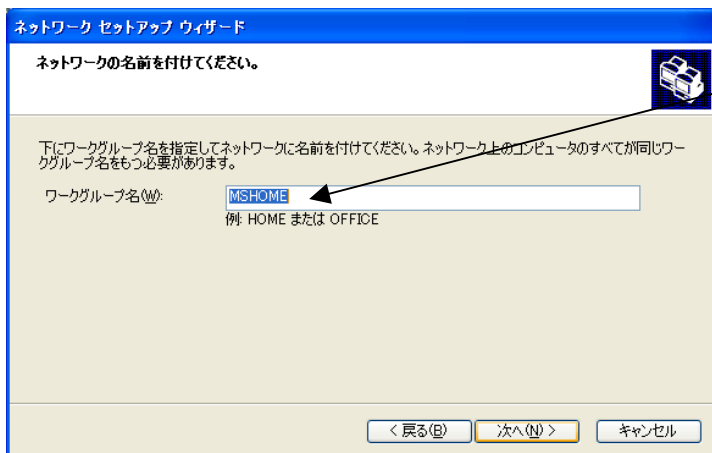


「次へ」をクリック



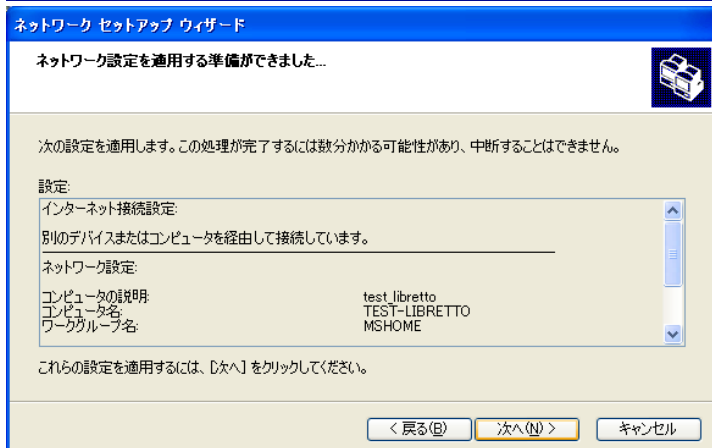
この項目は、お使いの環境に合わせてください。不用意に変更すると、他で支障をきたす場合があります。「コンピュータ名」は後で必要になるため、覚えておいてください。

「次へ」をクリック

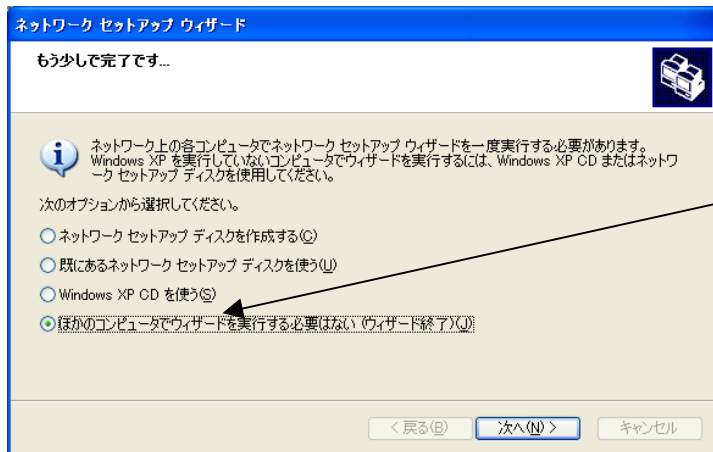


この項目は、お使いの環境に合わせてください。不用意に変更すると、他で支障をきたす場合があります。

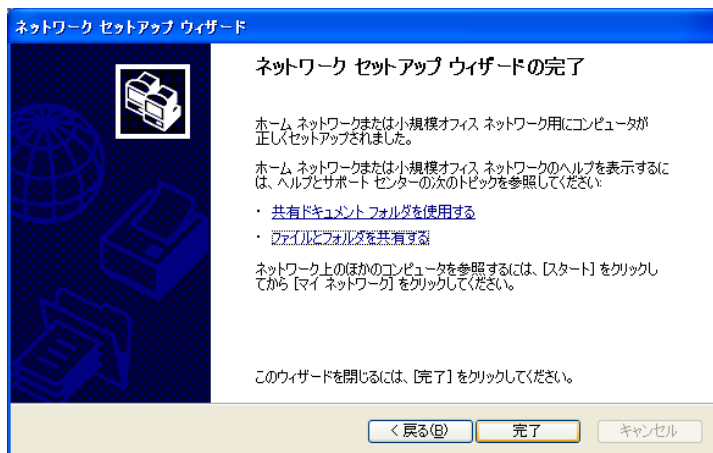
「次へ」をクリック



「次へ」をクリック



「ほかのコンピュータで...」を選択し、「次へ」をクリック



「完了」をクリックします。

この後、再度、10 ページからの「共有設定」を行なってください。

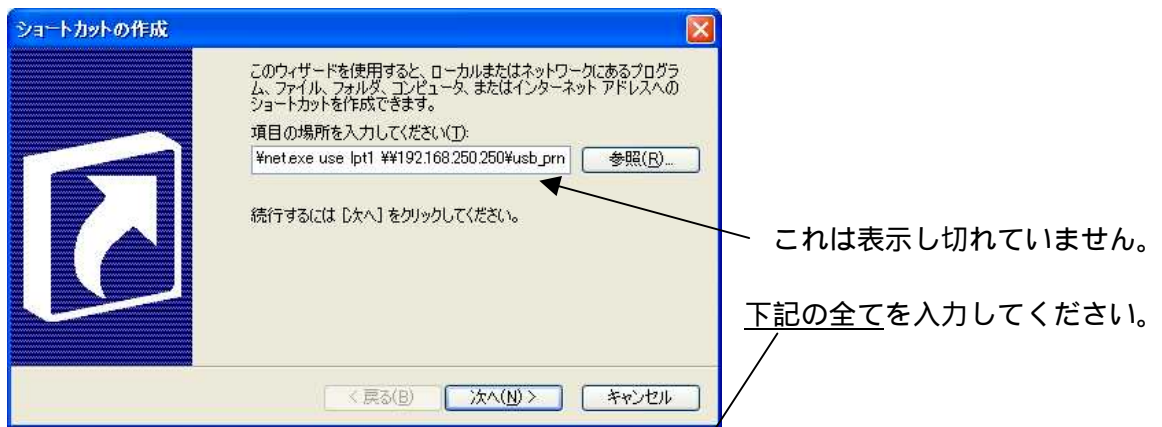
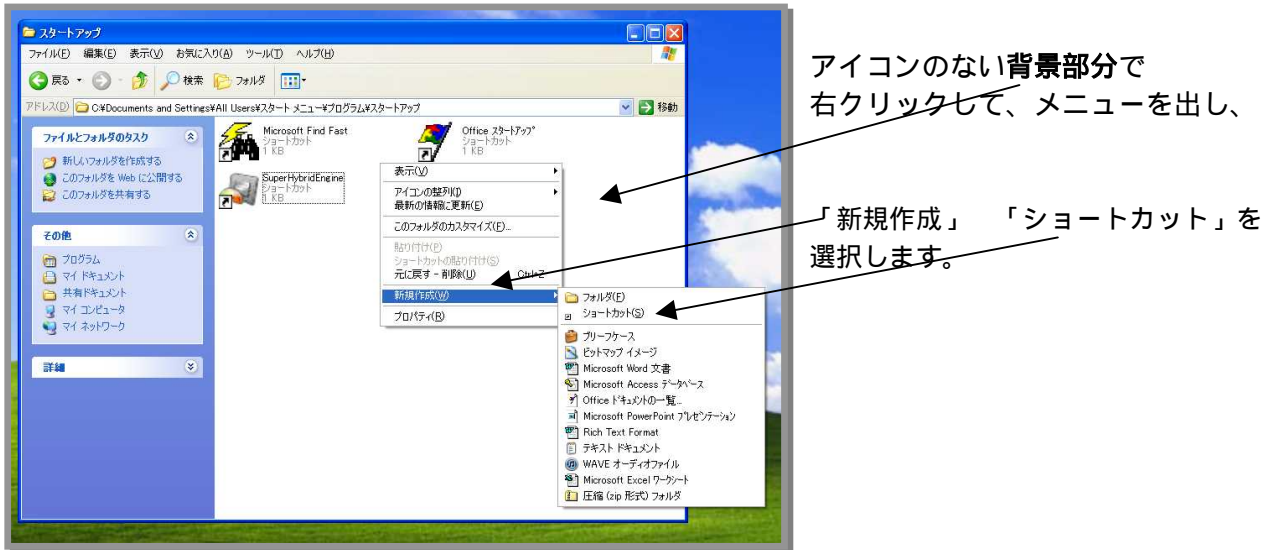


### ( 3 ) プリンタポートの割り当て設定

次に、コマンドプロンプトのリダイレクト機能によるプリンタデバイスへのアクセスを可能にするため、ポートを割り当てるコマンドを設定します。

これは、PC 起動時に 1 度だけ実行しておけばよいので、スタートアップに登録します。

まず、「C:\Documents and Settings\All Users\スタートメニュー\プログラム\スタートアップ」のフォルダを開きます。



項目場所の入力欄に、以下のコマンドを入力します。

```
%windir%\system32\net.exe use lpt1 ¥¥192.168.250.250¥usb_prn
```

(スペースやドットに注意して入力してください)

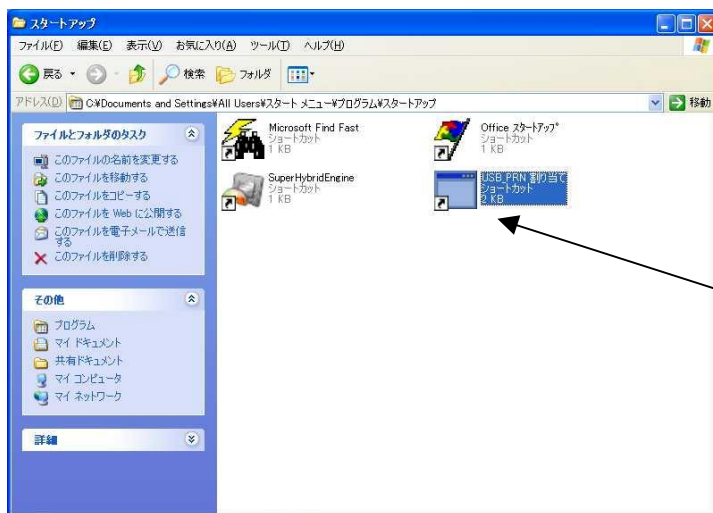
入力したら、「次へ(N) >」をクリックします。



このショートカットの名前を「USB\_PRN 割り当て」とし、「完了」をクリックします。

これで、PC を立ち上げたときに、コマンドプロンプトにおいて「PRN」および「LPT1」に USB プリンタケーブルが、割り当てられます。

このまま動作確認をするときには、作成した「USB\_PRN 割り当て」のショートカットをダブルクリックして、実行してください。



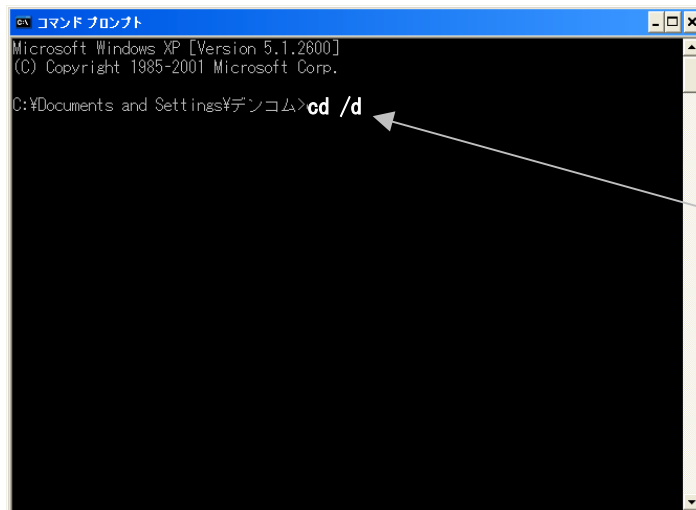
ダブルクリックして、実行します。

(次回以降は、立ち上げ時に自動的に実行されるので、改めて実行する必要はありません。)

#### ( 4 ) 転送手順

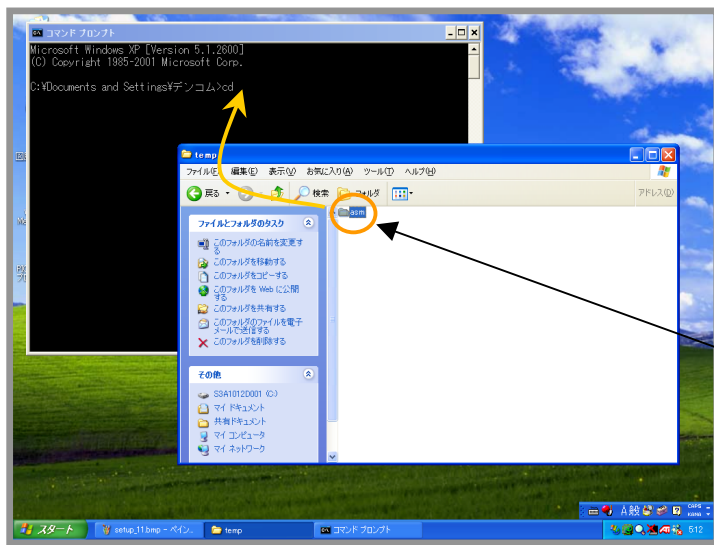
パソコンで作成したプログラムの転送には「コマンドプロンプト」を使用して行ないます。

コマンドプロンプトを立ち上げ、HEX ファイルの置かれているフォルダに移動します。「cd /d」と入力してから ([Enter]は押さない!) HEX ファイルのフォルダをドラッグしてくると、入力の手間が省けます。

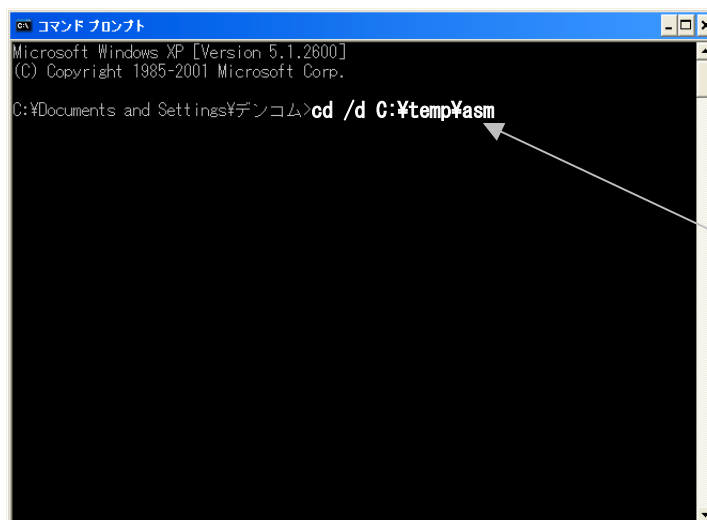


「cd /d」  
( は半角スペース)  
と入力してから ...

「cd /d」とすると、  
ドライブとフォルダが  
同時に移動できます。




ソースの置いてある  
フォルダのアイコンを  
コマンドプロンプトに  
ドラッグします。



このように  
フォルダ名が  
入力されたら  
[Enter]を押します。

フォルダを移動したら、HEX ファイルの転送準備をします。

HEX ファイルを転送するには、まず DENCOM 80ZMk A 側で **PR**  と押し「Pr In」という表示の状態、待機させます。

その状態で、コマンドプロンプト上で、次のコマンドを実行します。

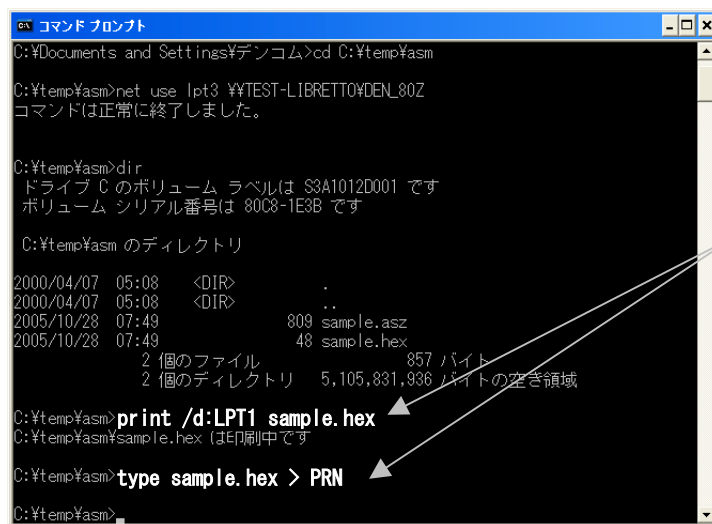
「**print /d:LPT1 (HEXファイル名)**」

または

「**type (HEX ファイル名) > LPT1**」

または

「**type (HEX ファイル名) > PRN**」



```
コマンド プロンプト
C:\Documents and Settings\デンコム>cd C:\temp\asm
C:\temp\asm>net use lpt3 ¥¥TEST-LIBRETTO¥DEN_80Z
コマンドは正常に終了しました。
C:\temp\asm>dir
ドライブ C のボリューム ラベルは S3A1012D001 です
ボリューム シリアル番号は 80C8-1E3B です

C:\temp\asm のディレクトリ

2000/04/07 05:08 <DIR>          .
2000/04/07 05:08 <DIR>          ..
2005/10/28 07:49                809 sample.asz
2005/10/28 07:49                48 sample.hex
                2 個のファイル             857 バイト
                2 個のディレクトリ 5,105,831,936 バイトの空き領域

C:\temp\asm>print /d:LPT1 sample.hex
C:\temp\asm¥sample.hex (は印刷中です)
C:\temp\asm>type sample.hex > PRN
C:\temp\asm>
```

「sample.hex」を  
転送する場合は、  
このようになります。

どちらのコマンドを  
使っても構いません。

コマンド実行後、DENCOM 80ZMk A 側の表示が「End」となれば、転送完了です。